DOSHISHA

CLOSE UP

高将大来 連 0 携 臘 業会計人を育 プログラムが てる

八十人と人気を集めている。 の薄い分野の講義にもかかわらず、 定試験三級の内容に対応した、 基本商業簿記」 環として、 二〇〇三年一〇月、 法人内四高校の三年生を対 講義が開講された。 高大連携教育プログラムの 高校生にはなじみ 受講生約一 日商簿記検 外象に

助教授だ このプログラムの企画立案者が松本敏史商学部

烈なレースを繰り広げている現在、 ラムなのです。 状況の打開策として考え出したのが、 関西では三位にまで落ちてしまった。そこでこの かし年々その順位を下げ、 国でも五、 者数です。 る評価の一 秀な生徒がたくさんいます。この高校生たちに早 時期から簿記を教えることで、 「少子化のなか、 六位の合格者数を誇っていました。 同志社大学は長らく関西でトップ、 つのバロメーターは公認会計士の合格 各大学が生き残りをかけ 同志社には法人内高校に優 昨年は全国で九位、 彼らが将来会計 商学部 このプログ て熾

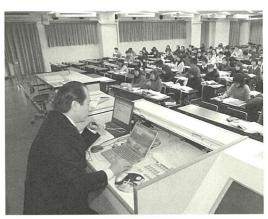
現在、

同志社の各高校も転換期を迎えている。

公立高校が

大

士をめざすきっかけになるのではないかと考えた



引き出したり、

進

学における学問 のです。

的

また、

大

(味を高校生から

高校生に講義する松本敏史先生 よう 路決定や職業選択 て役立たせること も期待できるでし つの指針とし

この企画を持ち込 高校の菊地先生に 交流のある同志社 先生は、 そこでまず松本 以前から

生き残らなければいけないからだ。 学との連携を図って特進コースを設けたり、 よって希望者を絞ったものの、 するのは志賀理助教授一人。 だけに、 はという必要性を強く感じていた時に持ち上がったプログラム 育に力を入れている現状のなかで、 二クラスに分けて急きょ松本先生も担当することになった。そ 初 の予定では、 企画はスムーズに動き出した。 受講者は三十人程度を見込み しかし受講者が殺到 結局一クラスでは対応できず、 学内高校も独自色を出して 高大ともに何とかしなくて 中・高・大一貫教 講義を担 面接などに

シスタント)を募り、ようやくスタートしたのである して両先生のゼミからチューター (学部生・院生などによるア

生徒ですから。 があるとは、 の目的は果たせると思っていたのですが…。こんなにニーズ 「三十人のうち三分の一でも会計士をめざしてくれたら、 私自身も高校側も驚きました。まして、 チューターをつとめる三年次生の山﨑泰佑さん さらに驚いたのは生徒の理解力の高さです」 普通科 当 0

は 「本当に呑み込みが速くて。高校生が初めてふれる分野なの

ですね」と語る。 れば受けたかった 時にこの講座があ う。僕が高校生の ているのでしょ 新鮮味を感じ

だと彼らは気を緩 めますが、 簡単な内容の講義 なしていきます。 明で理解し、 やく練習問題をこ 徒たちは一度の説 い簿記。でも、 手だという人が多 「大学生でも苦 難しい すば

ーが生徒の質問に答えながら指導する

やりが 問題であればあるほど真剣にくいついてきます。 いがありますね」松本先生も手ごたえを感じているよう

て、その先も考えてみたいです」(橋本亜樹さん・同志社高等 した。予想していた以上に難しいですが、まずは三級を突破し 「商学部志望で、商学部には簿記が必須だと聞いて受講しま

先生の講義は分かりやすくて、い 簿記に対する興味で受講したので、 森剛裕さん・同志社香里高等学校 「商学部入学や会計士という具体的な目標ではなく、 つも聞き入っています」(宮 苦戦しています。 でも松本 単なる

松本先生だが、 中から将来、 受講生たちも苦しみながら、 どれだけの会計士が誕生するか楽しみにしている 今後の課題は山積みという。 真面目に取り組んでいる。この

えるようなプログラムにはならないと思います」 らの問題をクリアしていかないと、 四高校の行事日程も調整してもらわなくてはなりません。これ 意見と、大学の授業と検定は別という意見との対立もあります。 う声もあります。 トで行う以上、商学部を希望する生徒のみに制限すべきだとい るなら、専任の教員を置かなければならないし、 「まずはキャパシティの問題。 大学側の受け入れ体制も整えるべきだという 毎回これくらいの人数が集ま 本当の意味で高大連携とい 商学部のコス

できるプログラムになる日も近いと期待されている 多くの人々の努力により、 高大、 そして受講生すべて